

株主通信 第56期中間期

平成20年4月1日～平成20年9月30日

目次

経営トップメッセージ	トピックス	商品紹介	財務情報
1-4P	5-6P	7-8P	9-10P



「お米」のおいしさ創造企業——
岩塚製菓株式会社



「おいしさ」を通して、
「楽しさ」と「豊かさ」を
お届けします。

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第56期（平成21年3月期）第2四半期までの業績につきましてご報告申し上げます。

昨今、薬物混入をはじめとする食の安全を脅かす事件が発生しており、米菓業界を含む食品業界を大きく揺るがしております。お客様をはじめ株主の皆様、関係者の皆様には、多大なるご心配をお掛けしておりますことをお詫び申し上げます。

当社といたしましては、これからも皆様に安心して商品をお召し上がりいただくために、購買部門、品質管理

部門、品質保証部門の連携強化や原材料の検査体制の強化を図りました。今後も製品の品質につきまして万全を期し、より一層の管理徹底を行ってまいります。

また、株主の皆様と対話を深め、皆様に当社の活動をより理解していただけるよう、当期よりこの事業報告書の名称を『株主通信』と改め、内容を充実いたしました。株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月

代表取締役社長
榎 春 夫

原油価格の高騰による原価の上昇が収益を圧迫いたしました

中期経営計画「一NEXT60—『お米』のおいしさ創造企業～米・技・心の継承と進化～」の初年度にあたる当期の第2四半期は、子供たちに人気のディズニーキャラクターを使用した商品を投入するなど、50～60年代の中高年層だけではなく、若年層に至るまでの、顧客層の拡大に努めてまいりました。また、子会社株式会社越後抄との共同企画「天地人紀行」では、2009年NHK大河ドラマ「天地人」の放映に向けて、観光土産市場での新潟米菓ブランドの確立に取り組みました。

その結果、第2四半期までの業績につきましては、売上高が前年同期比3.6%増の99億10百万円と増収となりました。しかしながら営業利益は、原油価格高騰に伴う包装材料費や原材料費の上昇に対して、製品価格の改善が追いつかず、△3億69百万円（前年同期は△1億27百万円）と減益となりました。四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益を特別利益として計上したことにより、8億21百万円と増益となりました。

第2四半期連結累計期間業績

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
第56期第2四半期	9,910	△ 369	238	821
第55期第2四半期	9,563	△ 127	42	△ 24

(百万円)



引き続き生産ラインの改善によりコストの削減に努めます

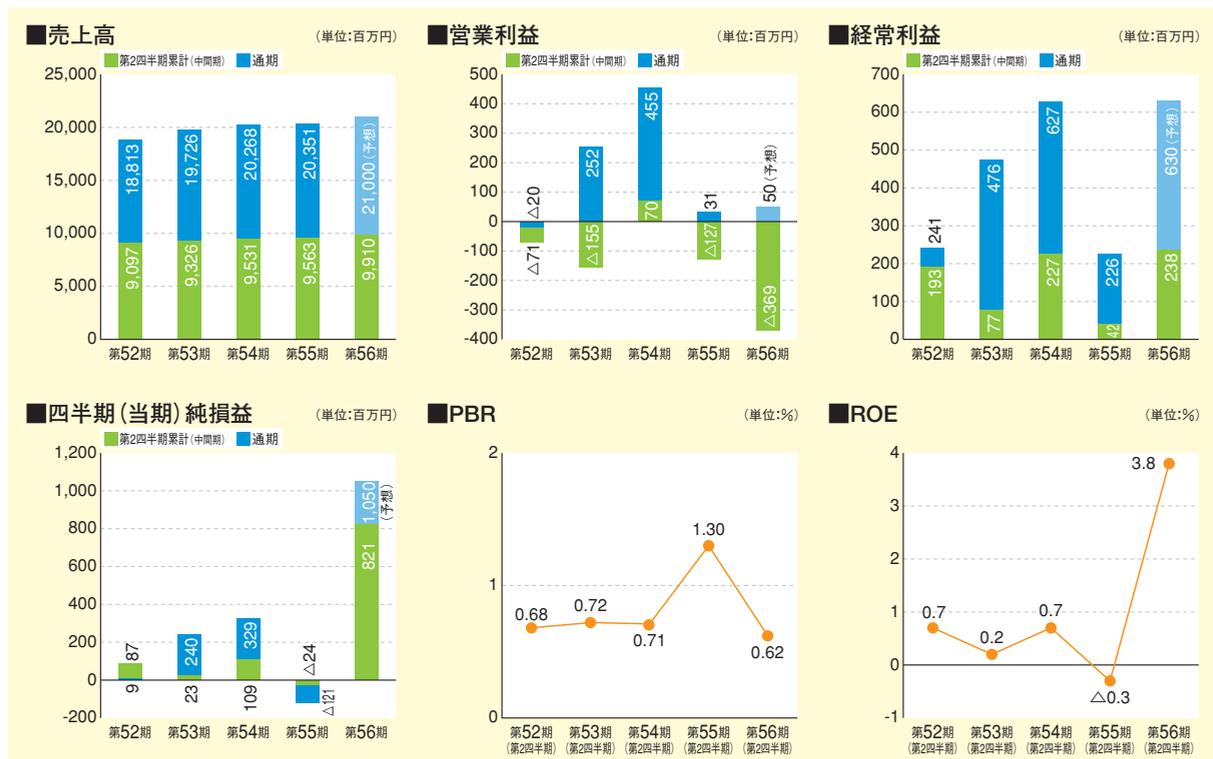
以上のように、原材料価格等の上昇が痛手となりましたが、現在では、原油価格の高騰は収束の過程に入っています。しかしながら、米欧金融市場の混乱や株価の下落など、世界経済の減速による実体経済への影響が懸念されています。国内におきましても、雇用情勢の悪化や金融資産の低下による個人消費の冷え込みなどが予想されます。

このような環境のなか、当社では、IPS（岩塚プロダクションシステム）を通じて、不況に強い利益体質づくりに取り組んでおります。第56期通期の業績につきましては、売上高が210億円、営業利益は50百万円、当期純利益は10億50百万円を目指します。

通期連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第56期予想	21,000	50	630	1,050
第55期実績	20,351	31	226	△ 121

(百万円)



生産ラインの改善と経営改革プロジェクト

消費者の生活防衛意識の高まりから今後も消費の低迷が見込まれるなか、減収でも減益にならない企業体質への改善が急務となっています。

当社ではIPSによる生産ラインの改善活動を全社員で展開し、総力を上げて生産効率の向上に取り組んでいます。製品不良の低減はもちろん、標準原価と実際原価の精密な検証と設計段階からの問題点の改善にも取り組んでいます。

また、原材料などの高騰は、各製造業に多大な影響を与えています。

その一方で、素材に安心感のあるお米を主原料とした米菓は、安全志向へ推移している消費者の需要を捉え、その市場規模を拡大させています。これを好機と捉え、当社は、経営改革プロジェクトにより、不採算商品のカットや販売体制の改善に着手し、さらなるコスト削減と、利益体質の構築に努めています。

「お米」のおいしさと新たな価値の創造に取り組みます

当社は昨年の創業60周年を機に、これからの60年に向けて、お米の産地「新潟」の企業として「お米」のおいしさを発信していく重大な使命があることを再確認しました。現在、お米—あるいは和食文化は、大変な勢いで世界中に広がっています。また、最近の食糧需給の逼迫や穀物価格の上昇などの環境変化は、小麦中心の欧米食

志向から、お米中心のアジア食志向への移行を促しており、世界の食料構造の大転換が必要であると考えています。このような中で、「お米」のおいしさ創造企業として、お米の食文化をさらに広げ、お米の新しい価値の創造に取り組んでいくことが、私たちにできることだと考えています。

岩塚米文化フォーラムを発足し新たな成長軌道を確立します

当社は、「岩塚米文化フォーラム」構想を発表しました。この活動では、「お米」のおいしさ創造企業として、有識者をお招きし、お米や稲作、米食文化全般と食の未来に関する研究を行います。来春には、その研究成果を『米の未来・食の未来・人の未来』（仮題）として出版し、世界に向けて情報発信をする予定です。ぜひ皆様にもご一読いただき、お米のこと、米菓のこと、米食文化のことなど、当社が目指す新たなお米の文化に触れていただければと思います。

また、この研究成果を活かし、新たな商品開発にも取

り組んでいます。新しい世代である子供たちや若年世代に、「お米」のおいしさに触れていただける価値ある商品を創出し、お届けしたいという願いのなかで、穀物食文化をさらに進化させた、雑穀とお米を使用した健康志向の商品を開発中です。

さらに、外食産業とのお米料理でのコラボレーションにも取り組み、新たなメニューの研究開発を行うなど、多様な機会に挑戦し、これまでにない全く新しい「お米」のおいしさの創造に取り組めます。

株主の皆様へメッセージ

中期経営計画「一NEXT60—『お米』のおいしさ創造企業 ～米・技・心の継承と進化～」では、新たな60年に向けて、「お米」のおいしさ、新たな可能性を世界に向けて発信するというビジョンのもと、事業活動にまい進してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



岩塚米文化フォーラム構想

7月17日、東京・千代田区の東京會館において、「岩塚米文化フォーラム」構想の記者発表会を行いました。米食文化を再認識し、新商品開発に活かす米文化フォーラムでは、お米や食について多角的に研究し、新感覚の健康志向商品を開発、提供していく予定です。



米文化フォーラム活動テーマ

1. 米・稲作、米食文化の研究・深耕
2. 新しい「お米」のおいしさの提供のための研究・開発
3. 「お米」のおいしさの接点づくりの新しい研究・開発
4. それらを通じた新しい事業開発による社会貢献
5. 「お米」を通じた世界の人々に対する貢献活動の研究、支援

初年度活動内容

1. 「岩塚米文化フォーラム」ブレンメンバーによる出版活動
 - ・『米の未来・食の未来・人の未来』（仮題）の出版
2. 新しい「お米」のおいしさの提供のための研究・開発
 - ・ディズニーキャラクター商品の発売
3. 「お米」との新しい接点づくりの研究開発
 - ・外食産業などにおける新メニューの研究開発
4. 社会貢献活動
 - ・田んぼオーナー体験

田んぼオーナー体験

当社の食育活動の一環として毎年開催している田んぼオーナーキャンペーンは、第5回を迎えました。今年度は、親子ペア24組53名様による田植え体験（5月10日）と稲刈り体験（9月10日）を実施しました。稲作を通じて、「子供たちが食の大切さについて学べる場を提供したい」と取り組み始めたこの活動を、絶やすことなく、これからも続けていきます。



岩塚せんべい村のまいにち

昨年2月に開設したWEBサイト「岩塚せんべい村のまいにち」では、お客様とのコミュニケーションを図るため、盛りだくさんのコンテンツを用意しています。岩塚情報局では、当社からの耳寄りな情報やママブログと呼ばれるお客様のブログが公開されています。みんなの広場では、お子様せんべいを中心に、子育て中のママ・パパ向けの応援サイトを展開しています。

岩塚せんべい村のまいにち
<http://www.iwatsuka.jp/>
 ふわっと、こむ
<http://www.fu-wat.com/>



ふわら日記帳と岩塚情報局 <ブログ>

マスコットキャラクター「ふわら」「おせんべいくん」「お米ちゃん」。個性的なキャラクターたちと担当社員たちのブログを読むことのできるキャンペーンサイト「ふわっと、こむ」と「岩塚せんべい村のまいにち」は、お客様と当社との距離を縮めるため日々新しい情報を提供し、お客様より好評をいただいています。



おせんべ村から飛んできた

当社のキャンペーンソング「おせんべ村から飛んできた」の作詞・作曲・歌を担当しているのは、「カムジー先生」こと加村雅玄（かむらまさはる）さんです。NHKの教育番組などで、子供たちと触れ合うカムジー先生の「バリボリバリボリ」と歌うリズムカルな歌は、「おせんべいを通じて子供たちの食育を」と願う当社の理念と合致した歌として、スーパー・展示会・当社WEB上などにて流れています。

輝き★味来フェスタ2008開催

子会社の株式会社新潟味のれん本舗では、昨年に引き続き9月21日に「輝き★味来フェスタ」を開催しました。新潟味のれん本舗とお客様とをつなぐ「絆」をテーマにのべ8,000人のお客様にご来場いただきました。通信販売という顔の見えない店舗だからこそ、お客様への感謝と絆を大切にするイベントとして、多くのお客様に楽しんでいただきました。



岩塚製菓
ディズニーキャラクターおせんべい



©Disney

楽しいおやつ

シリーズ




小さな子供に必要な栄養補給源のおやつ。そこで当社が発売したのが、「ディズニーキャラクター商品」です。おいしくて、子供たちが大好きなキャラクターが使われている商品、そして、お母さんにとって慣れ親しんだ味で、体に良くて安心な、「お米」でできたおせんべいは、子供のおやつにぴったりです。

当社は2009年度NHK大河ドラマ「天地人」(原作・火坂雅志氏)にちなんだ米菓シリーズ「天地人紀行」を企画・開発し、子会社株式として、また、米菓王国新潟から、新たな新潟観光土産としてのブランド化を図るために企画されました。「天地人」の舞台長岡市与板町出身の日本画家・大矢紀氏による「天地人紀行」のロゴマークを採用し、直江兼続が兜に掲げた「愛」の字の前立や家紋をデザイン化しました。またゆかりの地や人物を紹介するしおり(画・中村麻美氏・原作挿絵担当)をつけて、関係史跡の観光PRにつなげています。



天地人紀行









創作和菓集シリーズ

かき餅に生菓子の上品な雰囲気を重ね合わせた季節限定の創作和菓集シリーズ第2弾「南瓜やわらか御かきもち」を8月25日に発売しました。

素材のおいしさを訴求した菓子の需要が顕在化していることから開発された創作和菓集シリーズは、当社独自の製法で作られたふんわりとやわらかいおかきです。

国内産の南瓜パウダーと香ばしい黒胡麻を練り込んだ生地を、ふっくらとやわらかく焼き上げました。外掛けのパウダーにも国内産の南瓜パウダーを使用し、上品でまろやかな甘みが特長の南瓜味をお楽しみいただけます。「お抹茶やわらか御かきもち」に続く商品として、ご期待ください。



味わい深い本格おかき

正統派の醤油せんべいを深化させた商品として、深いひびを入れた醤油味の大将おかき「深ひびおかき醤油」を9月1日に発売しました。

四角い大将のおかきの生地深く刻み込んだひびが、焼き釜の火をしっかり芯まで通す役割を果たし、香ばしい焼き上がりに仕上げます。また、この深いひびは、焼き上げ時に表面を荒々しくめくれ上がらせ、そのやや堅めの食感と中のサクとしたほどよい歯応えを同時に楽しめるおかきがで上がりしました。

醤油の照り具合、艶、深いひびに染み入った生醤油仕立ての正統派おかきは、自分の時間を有意義に過ごしたい女性や休憩のひと時にちょっと贅沢をしたい女性を中心に楽しみいただけます。



じゃが揚げもち

「お米の風味」と「じゃがいもの旨み」を活かした味。生地に「じゃがいも」を練り込んだ、お米だけでは味わうことのできない深い味わい。生地に練り込んだじゃがいもと、工夫を重ねた製法により、サクとした心地の良い歯応えを実現しました。

カレットポテトチーズ味

米菓の枠を超えたおつまみ商品

カリッとした食感と濃厚な味わいがたまらない、今までのあられとは全く違う食感、味わいに仕上げた新感覚のおつまみ米菓です。ポテトの香ばしさとピーナッツの相性がバツグンのおいしさです。



連結財務諸表

連結貸借対照表（要旨）

（単位：千円）

科目	当第2四半期 平成20年9月30日現在	前期 平成20年3月31日現在
（資産の部）		
流動資産	3,955,947	4,557,666 ①
固定資産	32,116,531	33,312,761
有形固定資産	7,552,785	7,635,251
無形固定資産	53,379	52,331
投資その他の資産	24,510,365	25,625,177 ②
資産合計	36,072,479	37,870,427
（負債の部）		
流動負債	5,782,608	7,062,594 ③
固定負債	8,356,159	8,982,548 ④
負債合計	14,138,768	16,045,142
（純資産の部）		
株主資本	8,655,780	7,907,665
資本金	1,634,750	1,634,750
資本剰余金	1,859,250	1,859,250
利益剰余金	5,777,789	5,029,559
自己株式	△ 616,009	△ 615,893
評価・換算差額等	13,244,689	13,881,966
その他有価証券評価差額金	13,221,010	13,859,748
為替換算調整勘定	23,679	22,217
少数株主持分	33,240	35,652
純資産合計	21,933,710	21,825,285 ⑤
負債純資産合計	36,072,479	37,870,427

①流動資産

売上債権が減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して6億1百万円の減少となりました。

②投資その他の資産

投資有価証券が時価評価により前連結会計年度末と比較して、11億96百万円減少しました。

③流動負債

Want Want Holdings Ltdの組織再編で株式移転に伴う法人税上の移転差異により生じた法人税等のため計上していた未払法人税等が納税により減少したため、前連結会計年度末と比較して12億79百万円の減少となりました。

④固定負債

長期借入金を返済したことおよび投資有価証券の時価評価に伴い繰延税金負債が減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して6億26百万円減少しました。

⑤純資産

利益剰余金が7億48百万円増加し、その他有価証券評価差額金が6億38百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比較して1億8百万円増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：千円）

科目	当第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,038,924 ⑥
投資活動によるキャッシュ・フロー	938,965 ⑦
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 201,338 ⑧
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 8,108
現金及び現金同等物の増減額	△ 309,406
現金及び現金同等物の期首残高	699,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	389,595

連結損益計算書（要旨）

（単位：千円）

科 目	当第2四半期 平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	前中間期 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
売上高	9,910,550	9,563,375
売上原価	6,742,023	6,341,958
売上総利益	3,168,526	3,221,417
販売費及び一般管理費	3,538,218	3,348,945
営業損失	△ 369,691	△ 127,528
営業外収益	653,086	198,851
営業外費用	45,083	29,244
経常利益	238,311	42,079
特別利益	1,190,075	34,501
特別損失	2,609	41,642
税金等調整前四半期(中間)純利益	1,425,776	34,937
法人税、住民税及び事業税	463,533	17,392
法人税等調整額	143,442	45,553
少数株主損失	△ 2,575	△ 3,542
四半期純利益又は中間純損失(△)	821,376	△ 24,465

⑥営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益を14億25百万円計上した一方、投資有価証券売却益11億79百万円の計上および法人税等の支払額17億10百万円を反映したこと等により、10億38百万円の支出となりました。

⑦投資活動によるキャッシュ・フロー

投資有価証券の売却による収入12億17百万円等により、9億38百万円の収入となりました。

⑧財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出額2億76百万円を反映したことにより、2億1百万円の使用となりました。

⑨営業損失

原油価格高騰に伴う、燃料コストや包装材料の増加及び主原料、副材料の高騰に対して、製品価格の改善が追いつかなかったため、前年同期は1億27百万円の営業損失に対して、3億69百万円の営業損失となりました。

⑩特別利益

株式を保有していたWant Want Holdings Ltdの組織再編で生じた、株式移転に伴う法人税、住民税及び事業税の納税のため、組織再編後のWant Want China Holdings Ltdの株式を一部売却しましたので、投資有価証券売却益11億79百万円を特別利益として計上いたしました。

会社の概要

(平成20年9月30日現在)

商英代	名	岩塚製菓株式会社
文	表	IWATSUKA CONFECTIONERY CO., LTD.
表	者	代表取締役社長 榎 春夫
業	業	米菓の製造販売
内	所	新潟県長岡市浦9750番地
容	在	昭和29年4月27日
地	立	16億3,475万円
所	金	807名 他に、準社員・嘱託及びパートタイマーが
設	本	162名おります。
資	員	本社、R&D・Mセンター
本	数	工場：飯塚、沢下条（第一・第二・第三・第四）、中
業		沢、千歳、長岡
従		支店：広域営業課・札幌営業課・仙台・新潟・東京
業		東・東京西・名古屋・大阪・西日本

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日
	期末配当金 毎年3月31日
	中間配当金 毎年9月30日(中間配当を行う場合)
株式事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
	みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(お問い合わせ先)	平成20年12月30日まで 平成21年1月5日より
	〒135-8722 東京都江東区佐賀1-17-7
	みずほ信託銀行株式会社
	証券代行部
	0120-288-324
同取次所	みずほ信託銀行株式会社
	全国各支店
	みずほインベスターズ証券
	株式会社
	本店および全国各支店
株式取扱手数料	名義書換 無料
	新券交付 1枚につき200円
上場取引所	ジャスダック証券取引所
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
	http://www.iwatsukaseika.co.jp/

取締役及び監査役

(平成20年9月30日現在)

代表取締役社長	榎 春夫	常勤監査役	関 春夫
取締役	中 静	監査役	平 石
取締役	丹 羽	監査役	佐 野
取締役	郷 芳	監査役	日 出
取締役	阿 部		

子会社・関連会社

- 株式会社瑞花
- 株式会社新潟味のれん本舗
- 株式会社越後抄
- 瀋陽岩旺米粉製造有限公司
- 旺旺・ジャパン株式会社

株式データ

(平成20年9月30日現在)

発行可能株式総数	23,980,000株
発行済株式の総数	5,995,000株
株主数	4,071名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(株)
株式会社紀文食品	305,000
岩塚製菓共栄会	294,800
株式会社北越銀行	280,000
平石毅一	264,346
榎政男	235,805
株式会社第四銀行	200,000
岩塚製菓従業員持株会	165,000
榎キク	162,619
株式会社魚沼運輸	115,000
三瀧商事株式会社	105,500

注) 上記「大株主(上位10名)」には、当社所有の自己株式368,389株を含めておりません。

株主優待制度

当社では、日頃のご厚情に感謝し、当社株式を100株以上お持ちの株主様に当社製品を贈呈いたします。9月30日現在の株主様には12月に、3月31日現在の株主様には6月に発送いたします。

100株以上の株主様
1,000円相当

500株以上の株主様
2,000円相当

1,000株以上の株主様
5,000円相当

* 2,000株以上の株主様
5,000円相当

* 2,000株以上お持ちの9月30日現在の株主様には翌年3月、3月31日現在の株主様には9月にも贈呈いたします。

なお、基準日以降に住所変更のお手続きをされた方は、ご優待品が届かない場合がございますので、予め当社までご連絡ください。

岩塚製菓株式会社 管理部総務課 新潟県長岡市浦9750番地
Tel : 0258-92-4111 Fax : 0258-92-6060 <http://www.iwatsukaseika.co.jp/form.html>



イメージ写真

